

令和8年2月28日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口常雄

き ず な

す 住 み よ い げん き な 緑 の 郷 大 草 野 の

「第5回コミュニティ囲碁大会」(2月22日:日)

1月末から2月初め、ちょうど選挙が続いたころの寒さが過ぎ、気温が少し上がってきました。昼頃になると、ときどき、春一番を思わせるような強い風が吹き、にわか雨まで降る空模様になりました。



大会の準備も、優勝も田中均さんでした！

今回の大会には、6名の参加がありました。毎週開催している囲碁クラブの参加者も、他に数名おられますが、スケジュールが合わなかったようです。

会長が、挨拶の中で、「いつもは、仲良く対局されておられると思いますが、今日は勝ちにこだわって頑張ってください。そうすることで、頭も元気になると思っています。」と話されましたが、それが、まさしくこの囲碁クラブの本旨です。囲碁を愛する人達の集いの場になること、そして、「脳の健康」に資することが、この囲碁クラブを作った所期の目的です。

大会は、抽選で対戦相手

を決めて3試合を行いました。3戦目は、同じ2勝の田中均さん(辺田区)と富永宏史さん(万才区)の対戦となり、田中均さんが全勝で見事に優勝されました。2位は、2勝1敗で富永宏史さんと田中孝さん(式浪区)が同率となり、ジャンケンでの決定戦を行い、その結果、田中孝さんが勝たれて2位、3位は富永宏史さんということになりました。



田中さんと富永さんの決勝戦！

大草野小学校でも囲碁クラブが行われていて、今大会への参加を呼びかけられましたが、呼びかけの時期が遅くなり実現いたしませんでした。今後は、子ども達の参加の実現へと繋がる事が出来ればと思います。なお、囲碁を楽しんでいただく仲間を募集しています、お気軽にお問い合わせください。

◇◇◇ 囲碁クラブへの加入者・参加者募集 ◇◇◇

開催日：毎週火曜日(13:30~16:00) 場所：大草野研修センター

大草野小学校の卒業写真を探しています！！

大草野小学校150周年記念誌を作成するための卒業写真です。

昭和51年3月卒業の方～平成16年3月卒業の方のものが対象です。

記念誌作成のために貸していただける方は、下記までご連絡をください。

皆様方のご協力をお願いいたします。

連絡先：0954・66・3113 (大草野地区地域コミュニティ運営協議会)

「ありがとう集会」

2月20日(金):大草野小学校

まるで兄弟姉妹のような大草野小、その兄、姉の旅立ちのワンシーンのよう!

ミラノコルティナオリンピックが終盤を迎え、女子フィギュアで銀と銅メダルをダブル受賞した日に、「ありがとう集会」が開催されました。新型コロナウイルス感染が始まった令和2年4月に入学した子どもたちが、6年が経過し、もう卒業を迎えます。入学後しばらくはマスクをしたままの学校生活で、友達の顔さえよく分からずに過ごした時期もあったでしょう。

「ありがとう集会」は、6年生を送る会とともに、日ごろ色々な形で学校に協力している個人や、益世会、大草野コミュニティなどへ、子どもたちから感謝の言葉が述べられ、花束までいただきました。みなさん、キレイでカワイイ花を、ありがとうございました。

3月に卒業する子ども達の中には、先生よりも身長が伸びた子もいます。どの子どもたちも、コロナに負けず、心身ともに大きく成長しました。

この「ありがとう集会」での各学年の出し物を見ると、大草野小学校で培われ伝統となっている「縦割り班」の成果でしょう、1年生から6年生までが、



皆さん、神妙な顔で並んでいます!

まるで兄弟姉妹であるかのような仲の良さを見せてくれます。私たちの子ども頃は、同じ区の上級生は頼れるお兄さんでしたが、他の地区の上級生とはおっかなびっくりで接していたことを思い出し、すでに隔世の感があります。

下級生たちは、6年生たちに良いところを見せようと、



これまで練習してきたことを精一杯表現しようとしています。

その懸命さ、純粋さに打たれ、古希を過ぎ、色々と余計なものに身をまとい過ぎた自分自身の現状に引け目を感じてしまいました。大草野の子どもたちは、本当にみんないい子たちです、これからも素直で、自分で考える力を持った強い大人に育てて欲しい、と思います。



へへ編集後記へへ

もつと大切なこと

2月8日に行われた衆議院議員選挙は、総理の「私でいいの?」を問う選挙だ、と言う言葉を強調して報じたマスコミに煽られ、初の女性総裁を掲げて臨んだ自民党が圧勝して終わった。

ただし、これで「信を得た」と思うのは早計ではないだろうか。確かに、国民は「あなたでいい」と言ったのかも知れないが、「信を得た」と言える仕事はまだ何も為されていない、これからスタートするのだ。

「責任ある積極財政」と言う言葉を聞き飽きるほど言われているが、言葉尻をとらえるようで申し訳ないが、それじゃ今までは「無責任な消極財政」だったのか?と問いたくなる。

「日本列島を強く豊かに」の御旗の下にこれから様々な施策が行われるのだろうが、強く豊かにしていくのは、これからの未来を生きていく人たちだと思っ。

だから、その人たちが不安なく意欲を持って、生活していける環境が必要だ。

人も、国家も、まず自力で食っていける力を身に付けることが優先事項だと思う。ウロウロ、キョロキョロすることなく、どこに立っていても、何を大切にしているのかをしっかりと考えてほしい。